

「人財」でお困りなら
株式会社
MI ミヨシ・ロジスティクス
042-779-6619 <http://miyoshi-log.co.jp/>
順字制作：株式会社クライムエヌシーデー

KANAKEI かながわ経済新聞®

社長の専門家
りんくグループ
042-730-7891
www.link-tax.com
税務・会計・経営支援
もうどいい
りんく

2020年2月号 Vol.074

かながわ経済新聞 2020.2月号

吉田英訓の 連載記事が掲載されました

アウトソーシング(外部委託)活用法

第2回：深刻な人手不足

前回に続き、アウトソーシングの需要について話をしていきたいと思います。前回は多角化経営の広がり方を中心に話をしましたが、今回は「人材不足」についてお話しします。以前から話をしていますが、少子化による生産年齢人口減少という問題は、決して避けて通ることができない課題であります。

経済産業省が発表した「第4次産業革命への対応の方向性」によると、雇用人員増減を示すDIが、2013年以降、マイナス(人材不足)に転じており、16年には大企業・中小企業・非製造業、そして全産業においてマイナスの数値を示しています。



吉田英訓の
着眼大局 着手小局
～人と企業～

こういった観点からもアウトソーシング事業は「人手不足の補完戦略」として、重要な経営戦略と位置付ける企業が増えているのです。

ちなみに「高齢化率」という視点でも、00年には65歳以上の人口の割合が17.4%、10年には23%、そして20年には28.9%と、今後ますます少子高齢化が進み、人材不足が深刻化してきます。

そういう状況の中、中小企業は限られた経営資源をいかに生かし、事業を運営していくのか、課題はとも多くあるように思われます。

これらの課題を解決していくためにもアウトソーシングの活用は、有効な解決手段の一つになるのではないかと考えています。

(ミヨシ・ロジスティクス代表取締役/南西フォーラム委員長)